

性能表

項目	物質特性	嵩比重	pH	引火点 (°C)	凝固点	粘度(cps) (25°C)	入目	荷姿
ハイクリーナー A	カチオンポリマー 水溶液	1.03-1.04 (25°C)	1.6	なし	0°C	16	18kg	石油缶
ハイクリーナー B	リキッドクレー 水溶液	1.10 (25°C)	8.1~10.5	なし	0°C	400~1500	18kg	石油缶
ハイクリーナー C	ポリマーを含む クレイの分散液	1.10 (25°C)	8.5~10.5	なし	0°C	400~1500	18kg	石油缶
ハイクリーナー EX	ポリマーを含む モンモリロナイトの分散液	1.10 (25°C)	10.0~12.0	なし	0°C	150~400	18kg	石油缶
ハイクリーナー P	酸化亜鉛の アルカリ水溶液	1.35-1.45 (25°C)	12.0	なし	-15°C	10	20kg	石油缶
ハイクリーナー G	ポリマー水溶液	1.08 (25°C)	4.0	なし	-9°C	4,000	18kg	石油缶
ハイクリーナー パウダー	無機及び有機の 粉体混合物	0.9 以上 (25°C)	—	なし	—	—	20kg	ダンボール 箱

※ 詳しくは弊社のMSDSをご参照ください。

※ ハイクリーナーB は製造ロットにより若干の色違いがありますが、性能は全く同じものです。

※ あらゆる塗料に対応出来ます。弊社でラボテストを行ない、御社に最適なハイクリーナーを選定いたします。御社がご使用中の全ての塗料を各種類、約 100cc ずつ、弊社宛にお送り下さい。

ハイクリーナーの使用方法

建浴作業(土壌作り)

- ・ ハイクリーナーの中から事前テストした用量でブース循環水に初期投入します。
- ・ ハイクリーナーPでpH値を8~9にします。
- ・ 循環水は交換前の使用中でも薬品の切り込み投入は可能ですが、ブース内を清掃し水の入れ替えをしてから薬品投入しますと、効果がより発揮され理想的な状態で運用できます。
- ・ ハイクリーナーGの投入は運転開始後、徐々に投入してください。

建浴後の補給作業

基本的にはオーバースプレー量の8-12%を目安にします。(各薬品の合計量)

最後にハイクリーナーPでpH値を8~9にします。

ハイクリーナーとブースの日常管理

- ・ 塗装ブースを始動し水洗水が循環したらハイクリーナーを種類別に別個に投入してください。
- ・ 水槽内に浮上したカスは毎日、作業終了後にすくいアミ等で回収してください。
- ・ 塗料カスの状況や塗料の使用量の変化に応じてハイクリーナーの投入量を調整してください。
- ・ 塗料カスの自動回収装置およびハイクリーナーの自動薬注装置もご相談ください。

(販売代理店)

(製造元) **タカテック株式会社**

〒373-0861 群馬県太田市南矢島町378番地

電話: 0276-56-9700 / FAX: 0276-56-9555

URL : <http://www.takatec.com>